

令和5年度 利益相反審査委員会の審議一覧・審議内容

○委員会審議：令和6年2月8日

《審議内容》

課題名	認知症、Parkinson病（PD）・PD関連疾患などの発症・進行予防に向けての早期診断における嗅覚機能検査に関する研究
概要	わが国の高齢人口は2025年以降も増加し続けると予測されているため、認知症の予防、治療、介護を含めた総合的な対策を講じることは喫緊の国民的課題となっている。本研究では、現在使用可能な嗅覚検査を用いて、より簡便なスクリーニング法を確立し、認知症やPDの早期診断、臨床的に発症前診断の可能性を検討する。
判定	問題なし

○委員会審議：令和6年2月8日

《審議内容》

課題名	後期パーキンソン病の予後に関する多施設共同前向き研究
概要	—
判定	問題なし

○委員会審議：令和6年2月9日

《審議内容》

課題名	神経筋難病患者ならびに重症心身障がい児（者）の骨密度調査
概要	これまでに多くの先行研究として重症心身障がい児や神経筋難病患者の骨密度測定はされているものの、自院に入院している患者が実際に健常者と比較しどの程度骨密度が低下しているのか数値として把握したことはない。自院の入院患者の骨密度を測定することにより、今後の骨折予防対策への示唆を得られることが期待できる。
判定	問題なし

○委員会審議：令和6年2月9日

《審議内容》

課題名	健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究
概要	研究計画の軽微な変更。
判定	問題なし

○委員会審議：令和6年2月21日

《審議内容》

課題名	オシメルチニブの副作用発現に関連するリスク因子の調査
概要	本研究では、松江医療センターにおけるオシメルチニブを用いたがん薬物療法を受けた患者の副作用の発現に関連するリスク因子を調査・解析することにより、オシメルチニブの副作用発現のリスク因子を明らかにすることにより、投与量設定および副作用の早期発見に繋げることが目的である。
判定	問題なし